

都市計画フォーラム連続セミナー ” 早稲田が都市を語る ”

早稲田都市計画フォーラムのコンスタントな活動の場として連続セミナーを開催致します。

連続セミナーを、『フォーラム』のアイデンティティを形成する場として位置づけ、『フォーラム』のメンバー及び既存の組織では難しい都市計画、まちづくりに関わる異分野間の人々が相互に交流できるネットワークづくりと、『フォーラム』からのコンスタントな情報発信をしていきたいと考えています。

また、『早稲田』を冠する『フォーラム』の独自性は、「都市への向き合い方、都市の語り方、都市へのコミットの方法」に求め、連続セミナー自体は、早稲田出身者、都市計画専門家以外にも開かれたものとし、連続セミナーの活動を通して、都市づくり／まちづくりの新しい組織・運動体としての『フォーラム』の展開を探りたいとも考えています。

【連続セミナーの概要】

本年度は、” 早稲田が都市を語る ” と題し、連続セミナーの活動への積極的な参加の意思表示をされたフォーラムのメンバーに担当になっていただき、様々な角度から都市へのアプローチを試みたいと考えています。本年度は、連続セミナー開催の初年度であるため、とりあえず、次の3つのフォーマットを組み合わせて運営する予定です。

- 1)都市計画に関連する専門家や学際的、業際的分野のゲストを招き、異なる視点からの都市論(事例報告、問題提起などを含む)を発言してもらう。また、それを素材に参加者を交え自由な討議を行う。
- 2)実現した具体的なプロジェクトの見学会を行い、それを素材に参加者を交え自由な討議を行う。
- 3)早稲田都市計画フォーラムのメンバーによる実際の業務活動(プロジェクト、調査研究など)の紹介を通して、多様な都市づくりやまちづくりに対する取り組みへの理解を深めるとともに、メンバー相互の交流を図る。

開催日時：毎月第3土曜日午後2:00~4:00(親睦会4:00~)

会場：早稲田大学理工学部55棟会議室
(明治通りに面した新棟の1Fまたは2Fです)

参加費：会員1000円、非会員2000円、学生無料
親睦会は実費

申込み不要、当日受け付けます

【連続セミナーのスケジュール】

~以下の通りに決定しました。~

- 第2回 9/17(土)「都市とランドスケープ」
担当：川井由寛(SLAスタジオランドジャパン)
高間謙治(ランドスケープデザインコンサルタント)
- 第3回 10/15(土)「アジアのまちづくりとNGO」
担当：藤井敏信(十文字学園女子短期大学)
ゲスト：アジアのまちを考える日本のNGOのメンバー
- 第4回 11/19(土)「見学会：上尾市仲町のまちづくり」
担当：若林祥文(埼玉県企画財政部)、他
(当日、午後2時上尾駅改札口集合)
- 第5回 12/17(土)「都市・文化・情報、そして混沌」
担当：田村和寿(都市計画連合アトリエ)
中原蒼二(都市デザイン研究所)、他
- 第6回 1/14(土)「都市再開発における住民参加」
担当：田中滋夫(都市デザイン)、他
- 第7回 2/18(土)「土木とシビック・デザイン」
担当：上野俊司(オリエンタルコンサルタンツ)、他
- 第8回 3/18(土)「都市居住と住宅政策」
担当：村林正次(住信基礎研究所)、他

【問合せ先】アーバン・ハウス都市建築研究所(倉田直道)
FAX03-3354-3627まで(FAX不可能な場合TEL03-3354-3175)

岸宏一

金山町長
(山形県最上郡金山町)

都市計画に関する研究は、全国各地の大学で取り組んでおり、それぞれ素晴らしい成果をあげていることと思われませんが、私どものように町づりを具体的にいう立場からすれば、何か物足りないような気がしてなりません。その大きな原因は、現在、各大学で取り組んでいる都市計画が、研究という性格が強過ぎて、人々の生活と関連して行われる実践という側面が不足しているところにあるような気がします。その点、早稲田都市計画フォーラムの一連の試みは、正に、実践というところを見据え、人々の快適な生活を願う意義のある試みであると大いに期待しております。

島村慎市郎

越谷市長

このたび「早稲田都市計画フォーラム」が、広く自由な参加のもと新しい都市・地域のある方を追求しようとして創設されましたことに心から敬意を表するとともに、OBとしてまた、まちづくりに携わるものとして大変心強く思います。

私も昨年11月、佐藤・川西教授のおはからいにより「アメニティからの都市づくり」をテーマに講演させていただきました。このフォーラムが多岐の皆さんの参加を得て、教育・研究の支援そして相互の研鑽・交流の場となるよう期待してやみません。

戸沼幸市

早稲田都市計画フォーラム
寄付講座運営委員長

「現代都市・地域論」が、在来の学部縦割の壁を破って早稲田大学全学部を横断する寄付講座として新設され、学園に新風を送っている。
この講座の寄付者が早稲田都市計画OBの自由団体「早稲田都市計画フォーラム」であり、OB諸氏の底力を感じる。「早稲田都市計画フォーラム」が今後、国を越えた二十一世紀の時空における都市計画の理想に対して、理論的に実践的に大きな役割を果たすにちがいない。

松浦幸雄

高崎市長

わが母校・早稲田大学で街づくりや地域づくりの研鑽と交流の拠点として「早稲田都市計画フォーラム」が設立されましたことは誠に喜ばしく、そのご活躍とご発展を心から期待しております。
いま私は人・もの・情報・文化の交流拠点都市「たかさぎ」の実現を目指し、市民の誰もが「住んで良かった」。これからも住み続けたい。と思う街づくりに邁進する所存ですので、フォーラムの皆様には宜しくご指導下さるようお願い申しあげます。

「激励のことば」

近藤正一

(株)アール・アイ・エー
代表取締役社長

なんややかや云っても、今日やっと日本に、世界で云われている近代都市が試行錯誤の中を、日本なりの独特の姿で現れ始めている。この生暖かい都市を、大きな視点と細やかな視点、社会側と人間側、開発側と自然側、公共側と民間側、建築側と土木側、と云った様々な立場からの強いネットワークを使った、竹のように撓りながら弾力に富んだものに仕立て上げてゆくための一つの道標が、このフォーラムに求められているように思う。